

国内事例
in Japan

2

【千年先の、未来へ。】持続可能な宮古島市 に向けて／宮古島市エコアイランド推進課



宮古島市民の 意識の変化

宮古島市は、沖縄本島から南西に位置し、珊瑚礁が隆起してできた琉球石灰岩からなる離島である。年間降水量は多いものの、表土である赤土は乾きやすく、降った雨は蒸発または地下に浸透する。島は全体的に

平坦で、大きな河川が無いことから、生活水のほとんどを地下水に依存してきた。

1972年の本土復帰以前には、猛烈な台風や大規模な干ばつ等の影響により、大幅に人口減少するなど、自然災害が島の持続性に対して重大な影響をもたらした。本土復帰後は、水道、電気、道路、港湾、病院、

地下ダム等の社会基盤整備が進み、自然災害の影響は以前よりも緩和し、人口は増加してきた。

他方で、生活が豊かになるにつれ、地下水への負荷が増大し、平成元年前後にかけて、地下水の硝酸態窒素濃度が上昇した。そのまま地下水汚染が進めば、生活用水として利用できなくなる状況が迫っていた。この危機をきっかけとして農業における対策などが進み、硝酸態窒素濃度は低減化され、その数値は現在安定している。この様に先人の様々な努力によって危機的状況を乗り越えたことから、地下水保全への意識が高まった。

しかし他にも島ならではの持続可能な社会へ向けた課題がある。それは物資の多くを島外から移入しているにも関わらず、島内で消費された後のごみを最終処分する土地が十分でないことや、エネルギー資源を島外に依存しておりそのコストが市民生活の負担となっていることなどであり、島内で資源を循環する仕組みが求められてきた。

その中で生まれた 「千年先の、未来へ。」 というビジョン

このような背景を持つ宮古島市では、平成20年3月に「エコアイランド宮古島宣言」を行い、その実現に向け、バイオエタノールの生産・流通実証事業や、宮古島全島エネルギーマネジメントシステム実証事業など様々な取組を実施し、島外メデ

イア等で大きく取り上げられた。

一方で、市民から「エコアイランドとは何かよく分からない」、「自分たちの生活と関わりを感じられない」「取組の重要性は理解できるが、どう関わればいいのか分からない」といった声も聞こえてきたことから、今後、エコアイランドの取組を市民主体の持続的な取組に繋げていくためには、「エコアイランド宮古島」を再定義し、島民とイメージを共有できる新たな標語を設定する事を重視した。

市民意見を最大限反映するために、「ゆくりば（宮古島の言葉でおしゃべりの場）」と銘打ったワークショップを開催した。多様な意見がある中、標語へまとめることへの難しさを感じつつも、宮古島の自然を次世代へ継承したいという共通の想いと、島で共に生きていくことを表現するキーワードを拾い上げ標語案を作成し、パブリックコメントを実施。そこからの意見を集約し、標語を「千年先の、未来へ。」に決定した。

「千年先の、未来へ。」 実現のために

新しい標語は市民の認知度を高めるためのロゴマークを使用したポスターなどにより好評を得ている。その中で宮古島市はこの標語を実現するための取組として、GCF（ガバメントクラウドファンディング）を活用したエコパスポート制作を行った。

新型コロナウイルスのまん延以前、宮古島市の観光客数は100万人超が来島していた。平成27年度における観光客数の50万人台からすると倍増という状況だった。しかし、



GCFを活用して
作成した
エコパスポート

そのような多くの観光客が来島する中で、市内スーパーの混雑や、道路の渋滞、ごみの増加、サンゴへの被害など、市民から島の環境悪化に対する懸念の声が聞こえた。環境に配慮した観光のあり方について啓発する必要性が生じたことから、GCF（ガバメントクラウドファンディング）を活用して寄附金を募り、観光客へエコアイランド宮古島のビジョンを周知するためのエコパスポートを2万部制作した。現在、宮古空港・下地島空港・宮古島観光協会等にて配布している。また、「千年先の、未来へ。」残したい風景の撮影やエコ活動を行う市民を取材し、SNS

を活用して島内外に向けてPRを行っている。

その他にも持続可能な島づくりに関連した取組をしているゲストを招き対談を行う「せんねんトーク」というイベントの開催など様々な事業や取組を通して「エコアイランド宮古島」を推進している。これからも宮古島市の暮らしや人々の想いが、「千年先の、未来へ。」つながっていくよう取り組んでいきたい。

宮古島市企画政策部エコアイランド推進課
主任主事 友利翔太
エコアイランド推進課代表メール
ts.ecotown@city.miyakojima.lg.jp
エコアイランド宮古島公式サイト
<https://eco-island.jp/>



「千年先の、未来へ。」残したい風景として撮影された写真